# 学長候補者の選考（再任審査）結果の公表について

令和４年６月２３日開催の第９４回学長選考・監察会議において、「国立大学法人鹿児島大学学長選考基準」（以下「選考基準」という。）、「国立大学法人鹿児島大学学長選考規則」（以下「選考規則」という。）及び「国立大学法人鹿児島大学学長の再任審査に関する要項」（以下「再任審査要項」という。）に基づき、学長の再任審査を実施し、現学長である 佐野　輝 氏 を学長候補者に選考しましたので、選考規則第７条の規定に基づき公表します。

記

１．再任者の氏名（現職）

佐野（さの）　輝（あきら）（国立大学法人鹿児島大学長）

２．再任の任期

令和５年４月１日～令和７年３月３１日

３．選考理由

学長選考・監察会議（※）は、選考基準、選考規則及び再任審査要項に基づき、学長に業績調書及び所信表明書の提出を求め、プレゼンテーション・質疑応答を行い、学長の再任審査を実施しました。学長選考・監察会議は、慎重に審議した結果、以下の理由により、現学長である 佐野　輝 氏を学長候補者に選考しました。

同氏は、平成３１年４月１日に学長に就任以来、学長としてのリーダーシップを十分に発揮し、鹿児島大学憲章に謳われている「地域とともに社会の発展に貢献する総合大学」の実現を目指した取り組みを推進し、地域と連携した教育改革、社会の要請に応える国際的研究、ガバナンス改革など優れた実績をあげてきました。また、世界的に感染拡大している新型コロナウイルス感染症に対しても、大学病院における診療体制の整備に加えて、いち早く学生生活支援やワクチンの職域接種など、その対応に積極的に取り組み、地域の大学としての役割を果たしてきました。

学長選考・監察会議は、これらの大学運営における同氏の実績を高く評価し、同氏の持つ「達成すべき大学のミッション」が明確・適正で、かつ、「学長に求められる資質・能力」を十分に備えており、第４期中期目標期間においても鹿児島大学をさらに発展させうる人物であると判断しました。

以上の理由から、学長選考・監察会議は現学長である 佐野　輝 氏 の再任を可とし、学長候補者に選考しました。

令和４年６月２３日
国立大学法人鹿児島大学
学長選考・監察会議

（※）令和４年４月１日に学長選考会議から名称変更